

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称	〔24〕 東京都台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター					
指定管理者の名称	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31			
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	あさくさ・やなか・うえの高齢者在宅サービスセンター、せんぞくデイホーム・たなかデイホーム					
(3)経営状況	(27年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,816,804,521円,歳出2,832,987,406円,収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区三ノ輪1-27-11					
(2)設置目的	要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。					
(3)利用者	要支援・要介護と認定された高齢者					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日(年始1月1日~2日を除く)8時30分~17時15分					
(5)規模	延べ床面積 9,617㎡のうち1,865.45㎡ 三ノ輪福祉センター内、鉄骨鉄筋コンクリート造地上9階地下2階のうち3・4階の一部、デイホーム、認知症デイホーム、機械浴室など					
(6)人員体制	16名 内訳...事務員(1)、相談員(2)、介護職員(常勤3、非常勤8)、看護職員(2)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	通所介護・認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等) 介護予防通所・介護予防認知症対応型通所介護(送迎・入浴・食事・生活相談等) (定員 一般型デイサービス:45名、認知症対応型デイサービス:12名)					
(2)自主事業	自主事業は行っていない					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	16,755,600	13,323,000	13,323,000	15,567,000	15,929,000
	利用料金収入	129,682,000	133,377,000	136,125,000	136,121,000	134,407,000
	その他収入	2,474,400	288,000	288,000	8,000	0
	管理経費	148,912,000	146,988,000	149,736,000	151,976,000	152,339,000
決算	委託料	16,755,600	13,323,000	13,323,000	15,567,000	15,929,000
	利用料金収入	136,059,599	135,819,726	134,723,454	133,454,652	122,388,088
	その他収入	2,342,100	3,247,066	0	25,270	0
	管理経費	137,539,749	131,581,528	133,890,153	145,121,582	146,601,400
	収支	17,617,550	20,808,264	14,156,301	3,925,340	-8,284,312
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
定員(一般型デイサービス)		人	45	45	45	45
定員(認知症対応型デイサービス)		人	12	12	12	12
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(29年度)	25年度	26年度	27年度
利用率(一般型デイサービス)		%	80	79.4	80.6	76.5
利用率(認知症対応型デイサービス)		%	78	86.8	71	70

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み

一般型デイサービス、認知症対応型デイサービス共に利用率がやや減となったが、施設のロビーで毎月行われるコンサート等は地域の方々にも行事として定着しており、大勢の参加が得られる等、地域交流を頻繁に行っている。

8. 評価項目
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 [2]	(f)開館時間等の遵守 [2]	(b)サービス水準 [2]	(g)自主事業の成果 [-]
	(c)職員配置 [2]	(h)個人情報保護 [2]	(d)職員研修 [2]	(i)緊急時対応 [2]
	(e)案内・接遇 [2]	(j)警備・防犯体制 [2]		
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 [2]	(e)危険箇所等の確認 [2]	(b)備品の管理 [2]	(f)管理記録の作成・保存 [2]
	(c)清掃・衛生管理 [2]	(g)業務委託の事前承認 [2]	(d)施設の修繕 [2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮 [2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価 [2]	(d)利用しやすい環境整備 [2]	(b)苦情・要望への対応と報告 [2]	(e)関係団体・地域との関わり [2]
	(c)利用者数等の目標達成 [2]			
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 [2]	(c)収支計画の達成 [2]	(b)管理経費の効率化 [2]	(d)利用料等の徴収・管理 [2]

9. 評価
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1)事業の運営	A	館内1階ロビーにおいての階段コンサート開催等、施設の特徴を生かした工夫がなされている。また、ボランティアの協力を得たアニマルセラピー等、多様な活動プログラムに取り組んでいる。
(2)施設の維持管理	A	清掃業務、警備業務ともに業者委託しており、設備機器の異常についても防災センターで業者が遠方監視を行っている。職員は業務日誌を目視で確認、チェックを行い、施設の維持管理に努めている。
(3)利用者の満足度	A	利用率は減少したが、介護度が高く医療の必要性が高い利用者も受け入れる等、引き続きサービスの向上に取り組んでいる。また、階段コンサート等は地域の方々にも定着した行事になっており、地域に開かれた施設運営に努めている。
(4)収入支出	A	他施設と同様、利用率の増に向けた取り組みを進めたものの、介護報酬改定など、複合的な要因により、収支は減となった。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

妥当	事業の運営、施設管理については多くの取り組みがされており、適切に行われている。満足度調査でも利用者等から評価の声をいただいている。今後は、現在のサービス水準を維持しつつ、利用率と収支について向上を図っていく。
-----------	--

11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応

今後も階段コンサート等を通じて地域交流に継続して取り組むとともに、需要の高い入浴サービスを積極的に受け入れる等、サービス向上に努め、一般型デイサービス、認知症対応型デイサービスの両方の利用率を向上していく。